

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	要介護1～5の利用者が生活している。徘徊、物盗られ、妄想、介護拒否など多彩です。特に、要介護の高いご利用者が奇異の目で見られたり、孤立する傾向があります。	職員の気配り、働きかけにより、ご利用者間が互いに理解し、支え合う関係が築ける様に支援し、見守ります。	ご利用者間のトラブルが生じない様に見守ります。また、トラブル時はたとえ理解が困難でも、丁寧に説明をします。尊厳を保ちながら説明出来る様に、コミュニケーションスキルの向上に努めます。	6ヶ月
2	26	介護計画を計画作成担当者が一人で担っているところがあり、計画が画一的になる傾向があります。また、介護職員への周知も徹底しない傾向が見受けられます。	介護計画立案時から、介護職員ともっと話し合い、各ご利用者に即した介護計画を作成します。また、モニタリングの課題を職員全員で共有します。	アセスメント時は職員全員が関わり、立案出来る様に努力します。また、モニタリングはミーティング時だけでなく、必要時に行います。	6ヶ月
3	40	食事が一番の楽しみであり、普通食、きざみ食、ミキサー食など多彩です。特に、ミキサー食は食欲がわかず、職員も食事の下準備が困難です。	ミキサー食に対し、魚、野菜などの型どりをして、目で楽しめ、食欲がわく様に工夫します。季節に合わせた料理や、ご利用者のリクエストに答えた料理を出します。野菜などの下準備は、出来るだけご利用者にして頂きます。	ミキサー食の型どり等の調理器具を備えます。メニューなどを職員間で調理工夫をします。施設の畑で採れた野菜の下準備をご利用者にして頂きます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。